



変化を恐れず、自分を育てる2学期に

～変わるのは自分、育てるのは心～

夏休みが終わり、長い2学期がスタートします。保護者の皆さまにおかれましては、日頃より本校教育へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

(厳しい残暑が続いています。まず何よりも、子どもたちが健康に、安心して学べるよう、引き続き体調管理にご配慮いただけますようお願いいたします。)

さて、夏休みは、お子さまにとってどのような時間だったでしょうか。家族とのふれ合い、普段できない体験、静かに自分を見つめる時間、そのすべてが成長の糧になっていれば幸いです。夏休みモードから学校モードへの「心の切り替え」が必要です。ご家庭でも、お子さまの様子に寄り添いながら、声かけや励ましを続けていただければ幸いです。

これから迎える2学期は、1年の中でも最も長く、内容の濃い学期です。作品展、校外学習、5年生・6年生は宿泊学習、学習のまとめ、そして友だちとの関わり。子どもたちにとって、挑戦と成長の毎日が続きます。この時期に大切にしたいのは、目に見える学力だけでなく、「人とつながる力」「思いやる力」「約束を守る責任感」など、人としての土台となる力です。

学校では、改めて「陰口や悪口を言わない」「マナーや礼儀を大切にする」ことを全校で指導していきます。他人を傷つけることばは、自分の心も傷つけてしまいます。誰かのせいにするのではなく、「自分の言動を見直すこと」が、子どもたちの真の成長につながるのです。

また、人との関係に悩むことも、時には学びの一部です。うまくいかない経験や、自

分の思いが伝わらないもどかしさも、子どもたちにとっては「心を育てる時間」。大人が答えを与えるのではなく、考える手助けをしながら、「自分を変える勇気」や「相手を理解しようとする姿勢」を育てていってほしいと願っています。

学習面では、1学期の基礎をさらに深め、自ら考え、粘り強く取り組む姿勢を育ててまいります。

2学期が、お子さまにとって実り多く、心豊かな時間となりますように。引き続き、学校とご家庭とが手を携えて、お子さまの成長を支えてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【保護者の皆さまへ】

～子どもたちのまなざしを、共に見つめて～

2学期が始まり、子どもたちはまた一步、学びと成長の季節へと踏み出しました。学校は日々、笑顔や驚き、時には葛藤を含んだドラマの連続です。子どもたちはその中で、自分の心をつくり、人との関係性を学んでいます。

SNSやLINEといったツールの使い方に関するトラブルが、子どもたちの間で見受けられるようになってきています。便利である一方で、使い方を誤ると、深い心の傷につながることもあります。特に、軽い気持ちで書いた言葉が、相手にとっては大きな痛みになることもあります。

SNSの使用は、家庭でのルールと保護者の皆様の目配りの中で行うことが、何より大切です。今一度、お子さまのSNSやLINE使い方やその背景にある気持ちに目を向けていただければと思います。「ルールを守る」という形だけでなく、「なぜ守るのか」を共に考えていただけると、子どもたちの心の学びにもつながります。

また、言葉に関する問題、特に陰口や悪口といった「見えにくい言葉の暴力」は、表面化しにくい分、深く長く影響を残すものです。これは、スマートフォンの画面の中だけでなく、教室や休み時間にも存在します。

そしてもう一つ、大切な願いがあります。子どもたちは成長の過程で、たくさんのことを経験し、時に迷い、時に間違いもします。それは、健やかな成長の証でもあります。その時、私たち大人がすべきことは「決めつけ」や「感情の先走り」ではなく、「事実をよく見つめること」だと思っています。

日々の忙しさの中で、子どもの小さなサインを見落としてしまうこともあるかもしれません。だからこそ、保護者と学校が、互いに補い合いながら子どもを見守っていく関係を築きたいと考えています。

子どもたちの未来のために、目の前の一步一步を、丁寧に積み重ねていける2学期となるよう、引き続きご理解とご協力、並びに建設的なまなざしをお願い申し上げます。